

浜から食卓までを網羅し、
挑戦の歩みを未来へ

 ニチモウ株式会社



2025年3月期 決算短信補足説明資料

2025年5月9日

8091

プライム市場



 ニチモウ株式会社

2025年3月期決算

2025年3月期決算のポイント：主要4事業が安定成長、業績は想定通りV字回復

売上高：133,900百万円 前期比+ 4.8% ※過去最高更新

営業利益： 3,002百万円 同 +48.6%

期初の前提条件

- ・インバウンド需要は、予想通りに伸長したが、物価上昇が個人消費改善の重石
- ・海水温の上昇や国内近海での不漁など天然資源が継続して不安定

事業概況

- ・厳しい外部環境のなか、主要4事業を中心に安定成長、売上高は過去最高を更新
- ・過去の不良性資産は一掃され、営業利益はほぼ想定通りV字回復
- ・特に機械事業が今期中に大型案件納入完了し、業績を牽引

主要4事業の概況

食品事業：増収増益	助子苦戦も、カニ・ホタテ・北方凍魚を中心とした鮮凍水産物の販売好調
海洋事業：増収増益	漁網漁具の販売低調も、養殖関連資材・餌料の販売堅調
機械事業：増収増益	大型案件を含め幅広く受注を重ね、大きく業績に貢献
資材事業：増収増益	原材料価格高騰の影響も、採算重視の営業活動に尽力

2025年3月期決算：売上高は過去最高、収益性も大幅に改善

売上高：133,900百万円（+ 4.8%）

営業利益：3,002百万円（+48.6%）

主要 4 事業が安定成長、売上高は過去最高を更新

機械事業が当期中に大型案件納入完了し、大きく業績を牽引
過去の不良性資産は一掃され、収益性も大幅に改善

(単位：百万円)	2024年 3月期	構成比 (%)	2025年 3月期	構成比 (%)	前期比 (%)	期初計画 (期初見通し)
売上高	127,756	100.0%	133,900	100.0%	+4.8%	135,000
売上総利益	10,780	8.4%	12,228	9.1%	+13.4%	—
販売費及び 一般管理費	8,760	6.9%	9,225	6.9%	+5.3%	—
営業利益	2,020	1.6%	3,002	2.2%	+48.6%	3,400
経常利益	2,562	2.0%	3,601	2.7%	+40.6%	3,600
親会社株主に帰属する 当期純利益	2,349	1.8%	2,666	2.0%	+13.5%	2,600

2025年3月期事業別動向（前期比）

主要 4 事業全てにおいて、増収増益を達成

（単位：百万円）		2024年3月期	構成比 （％）	2025年3月期	構成比 （％）	増減
全体	売上高	127,756	100.0	133,900	100.0	+6,144
	営業利益	2,020	—	3,002	—	+982
食品	売上高	82,288	64.4	84,102	62.8	+1,813
	営業利益	1,636	45.1	1,953	41.0	+317
海洋	売上高	21,813	17.1	22,377	16.7	+563
	営業利益	503	13.9	755	15.9	+251
機械	売上高	12,259	9.6	15,618	11.7	+3,359
	営業利益	966	26.6	1,456	30.6	+489
資材	売上高	8,506	6.7	9,043	6.7	+537
	営業利益	349	9.6	382	8.0	+32
バイオティックス	売上高	309	0.2	293	0.2	△15
	営業利益	24	0.7	17	0.3	△7
物流	売上高	2,469	1.9	2,352	1.8	△117
	営業利益	△120	—	108	2.3	+228
その他＊	売上高	109	0.1	110	0.1	+1
	営業利益	148	4.1	90	1.9	△58
全社費用		△1,489		△1,760		

＊その他は、不動産賃貸業など。営業利益構成比は、全社費用控除前。

主要事業の概況① 食品事業・海洋事業

食品：増収増益 助子事業は苦戦も、カニ・ホタテ・北方凍魚を中心とした鮮凍水産物の販売好調

(単位：百万円)	2024年3月期	利益率（％）	2025年3月期	利益率（％）	増減
売上高	82,288	－	84,102	－	+ 1,813
営業利益	1,636	2.0	1,953	2.3	+ 317

- < 鮮凍水産物 > (20.2%) カニは、業務用・通販向け販売が堅調、ホタテは海外向けの販売が伸長、生産も順調に推移したことでそれぞれ増収増益
助子は原料価格が高騰するなか、価格転嫁を推し進めるものの、生産コスト増を補うことができず大幅減益
北方凍魚は、赤魚・ホッケを中心に中国への販売を拡大し増収増益
- < 加工食品 > (41.4%) 養殖銀ザケ・ツナの販売が順調も煮魚・焼魚などの加工食品の販売が計画通り進まず、増収減益
- < すり身 > (38.4%) 国内原料の水揚げ不振に加え、南米すり身の生産も伸び悩み、減収となったが、徹底した採算管理により増益

海洋：増収増益 漁網漁具の販売低調も、養殖関連資材・餌料の販売堅調

(単位：百万円)	2024年3月期	利益率（％）	2025年3月期	利益率（％）	増減
売上高	21,813	－	22,377	－	+ 563
営業利益	503	2.3	755	3.4	+ 251

- < 養殖部門 > (57.8%) 養殖用機資材や養殖用餌料の販売が堅調に推移したことに加え、海苔機資材の設備投資需要を確実に捉え増収増益
- < 漁網・漁具資材部門 > (39.2%) 海外における陸上ネットの販売は堅調も、各種漁具資材は、交換需要が一服、国内外での水産物の漁獲量減少などの影響もあり、減収減益
- < 船舶・機械部門 > (3.0%) 船舶用機器類ならびに船用品は、減船傾向のなかでの需要減少により減収減益

主要事業の概況② 機械事業・資材事業

機械：増収増益 大型案件を含め幅広く受注を重ね、大きく業績に貢献

(単位：百万円)	2024年3月期	利益率（％）	2025年3月期	利益率（％）	増減
売上高	12,259	－	15,618	－	＋3,359
営業利益	966	7.9	1,456	9.3	＋489

＜国内＞（88.4％）インバウンド需要が旺盛な外食産業を中心に、生産の効率化に向けたニーズが高まるなど、積極的な設備投資意欲が継続しており、確実に機を捉え、増収増益

＜海外＞（11.6％）省人化を主とした豆腐・総菜など各種生産設備を確実に受注し、増収増益

資材：増収増益 原材料価格高騰の影響を大きく受けるも、きめ細かな営業活動を展開

(単位：百万円)	2024年3月期	利益率（％）	2025年3月期	利益率（％）	増減
売上高	8,506	－	9,043	－	＋537
営業利益	349	4.1	382	4.2	＋32

＜化成品＞（93.7％）樹脂フィルムの受注が堅調、包装資材も海外向け産業資材の販売が伸長するなど順調に推移、その他、各種商材の販売に共通して、原材料価格高騰に対し、採算重視の営業活動に努め増収増益

＜農畜資材＞（6.3％）農業用資材・肥料の拡販により増収増益

貸借対照表（要約）

- ・ 財務体質の強化にむけて、キャッシュマネジメントを効率化
- ・ 各国の通商政策や経済情勢の変化による混乱に備え、短期負債を長期負債へ切替を進める。

資産の部

負債・純資産の部

(単位：百万円)	2025年3月期	前期末比増減	(単位：百万円)	2025年3月期	前期末比増減
流動資産	56,501	△94	流動負債	32,086	△6,719
現金及び預金	5,956	△2,402	支払手形・買掛金 電子記録債務	14,092	△2,181
受取手形・売掛金 電子記録債権	17,411	△260	短期債務	12,877	△4,709
商品及び製品	27,001	+2,223	契約負債	3,017	+934
固定資産	26,450	+2,072	固定負債	20,783	+6,845
有形固定資産	10,593	+1,419	純資産	30,229	+1,880
無形固定資産	648	△113	株主資本	25,291	+1,992
投資その他の資産	15,208	+766	その他包括利益計	4,920	△113
資産合計	83,098	+2,006	負債・純資産合計	83,098	+2,006

キャッシュ・フロー計算書

・営業キャッシュ・フローは水産物の不安定な相場変動に備えた在庫確保を実施したためマイナス。すり身新冷凍工場の建設等、環境に配慮した積極的な設備投資を行いつつ金利動向を見据えてサステナビリティローン等を活用した長期負債への切替を進める。

(単位：百万円)	2023/4-2024/3	2024/4-2025/3	増減	主な要因
現金及び 現金同等物の期首残高	6,939	7,658	+719	
営業活動によるキャッシュフロー	+ 6,629	△1,345	△8,025	税金等調整前当期純利益 + 3,489 売上債権の減少 + 397 棚卸資産の増加△2,176 仕入債務の減少△2,354
投資活動によるキャッシュフロー	+ 1,276	△1,980	△3,205	投資有価証券の売却による収入 + 236 有形・無形固定資産への投資△2,302
フリーキャッシュフロー	+ 7,905	△3,325	△11,230	
財務活動によるキャッシュフロー	△7,282	+ 1,186	+8,468	短期借入金の純減額△5,726 長期借入金・社債の純増額 + 7,873
現金及び現金同等物の 四半期末残高	7,658	5,514	△2,144	

前中計投資計画の成果：水産物加工の安定供給に対してはほぼ予定どおり実施

中期経営計画投資枠合計100億円

- ①陸上養殖の事業化（新規事業）
30億円
- ②バイオマス漁網の実用化（研究開発）
10億円
- ③水産物加工の安定供給体制（設備投資）
30億円
- ④M & A 資金（既存事業強化）
20億円
- ⑤その他（システム開発費用）
10億円

2025年3月期末時点 投資累計額

- ①陸上養殖事業化 7.2億円（2025年3月期：1.5億円）
⇒Phase 2(年間生産量300t→3,000t) 移行検討中
- ②バイオマス漁網実用化 2.9億円（2025年3月期：1.0億円）
⇒生分解性の海洋資材・廃棄漁網リサイクルの研究開発他
- ③水産物加工の安定供給26.6億円（2025年3月期：10.0億円）
⇒環境に配慮した新冷凍工場建設
- ⑤その他（システム費用）7.4億円（2025年3月期：2.5億円）
⇒セキュリティ強化、電子記録債権に対応したシステムの改修

調達額 19.4億円
新株予約権発行（2023年6月行使完了）
当初調達金額 約18.6億円
①陸上養殖建設資金 15億円
②バイオマス漁網実用化研究開発資金 3.6億円

- ①陸上養殖の事業化、②バイオマス漁網の実用化は進捗に遅れが生じたが、
③水産物加工設備はほぼ予定通り進捗
⑤システム開発については今後投資を積極化
- ④M&Aについては、新中計でも引き続き検討へ

 ニチモウ株式会社

2026年3月期業績見通し

事業環境と評価（前期総括を踏まえた今期見通し）

外部環境は浮き沈みが懸念されるなか、収益基盤を更なる強固なものへ

2025年3月期（前期）総括

外部環境

- ・ 断続的な物価上昇で生活防衛意識が高く、個人消費は弱含み継続
- ・ インバウンド需要は引き続き伸長、内需拡大に貢献

内部環境

- ・ 引き続き各事業とも堅調に推移
⇒ 特に機械事業が業績牽引
- ・ 過去の不良資産は一掃され、収益性は大幅に改善

2026年3月期（今期）見通し

外部環境

- ・ 国内は、各種政策効果による個人消費の改善・インバウンド需要の更なる拡大に期待
- ・ 海外は、米国の通商政策や経済情勢の変化等により先行き不透明

内部環境

- ・ 新中期経営計画がスタート
⇒ 事業ポートフォリオの再構築
⇒ 成長領域への投資加速
⇒ 収益基盤を強固なものへ
- ※今期は更なる収益拡大するための助走期間

2026年3月期見通し：売上高1,350億円（+0.8%）、営業利益33億円（+9.9%）

売上高・営業利益ともに、更なる過去最高更新を視野に

- 売上高：①インバウンド需要拡大・消費活動活発化で食品事業で増収を見込む
②海洋事業は養殖事業の拡大で増収を見込む
③機械事業は前期の大型案件による反動減を想定
- 営業利益：①主要4事業は、全て増益を想定
②食品事業は高品質・高付加価値な商材に注力し、収益性向上へ

(単位：百万円)，	2025年3月期	構成比 (%)	2026年3月期	構成比 (%)	前期比	
					(%)	+ 差異
売上高	133,900	100.0%	135,000	100.0%	+0.8%	+1,099
営業利益	3,002	2.2%	3,300	2.4%	+ 9.9%	+297
経常利益	3,601	2.7%	3,500	2.6%	△2.8%	△101
親会社株主に帰属する 当期純利益	2,666	2.0%	2,500	1.9%	△6.3%	△166

2026年3月期見通し（事業別）

主要 4 事業全て営業増益を想定、機械の売上高は前期大型案件の反動減を想定

(単位：百万円)		2025年3月期 実績	構成比 (%)	2026年3月期 見通し	構成比 (%)	増減
全体	売上高	133,900	100.0	135,000	100.0	+1,099
	営業利益	3,002	—	3,300	—	+297
食品	売上高	84,102	62.8	84,500	62.6	+398
	営業利益	1,953	41.0	2,100	40.9	+147
海洋	売上高	22,377	16.7	23,000	17.0	+623
	営業利益	755	15.9	900	17.5	+145
機械	売上高	15,618	11.7	15,000	11.1	△618
	営業利益	1,456	30.6	1,500	29.2	+44
資材	売上高	9,043	6.7	9,500	7.0	+457
	営業利益	382	8.0	400	7.8	+18
バイオティックス	売上高	293	0.2	350	0.3	+57
	営業利益	17	0.3	20	0.4	+3
物流	売上高	2,352	1.8	2,550	1.9	+198
	営業利益	108	2.3	120	2.3	+12
その他＊	売上高	110	0.1	100	0.1	△10
	営業利益	90	1.9	90	1.8	0
全社費用		△1,760		△1,830		△70

＊その他は、不動産賃貸業など。営業利益構成比は、全社費用控除前。

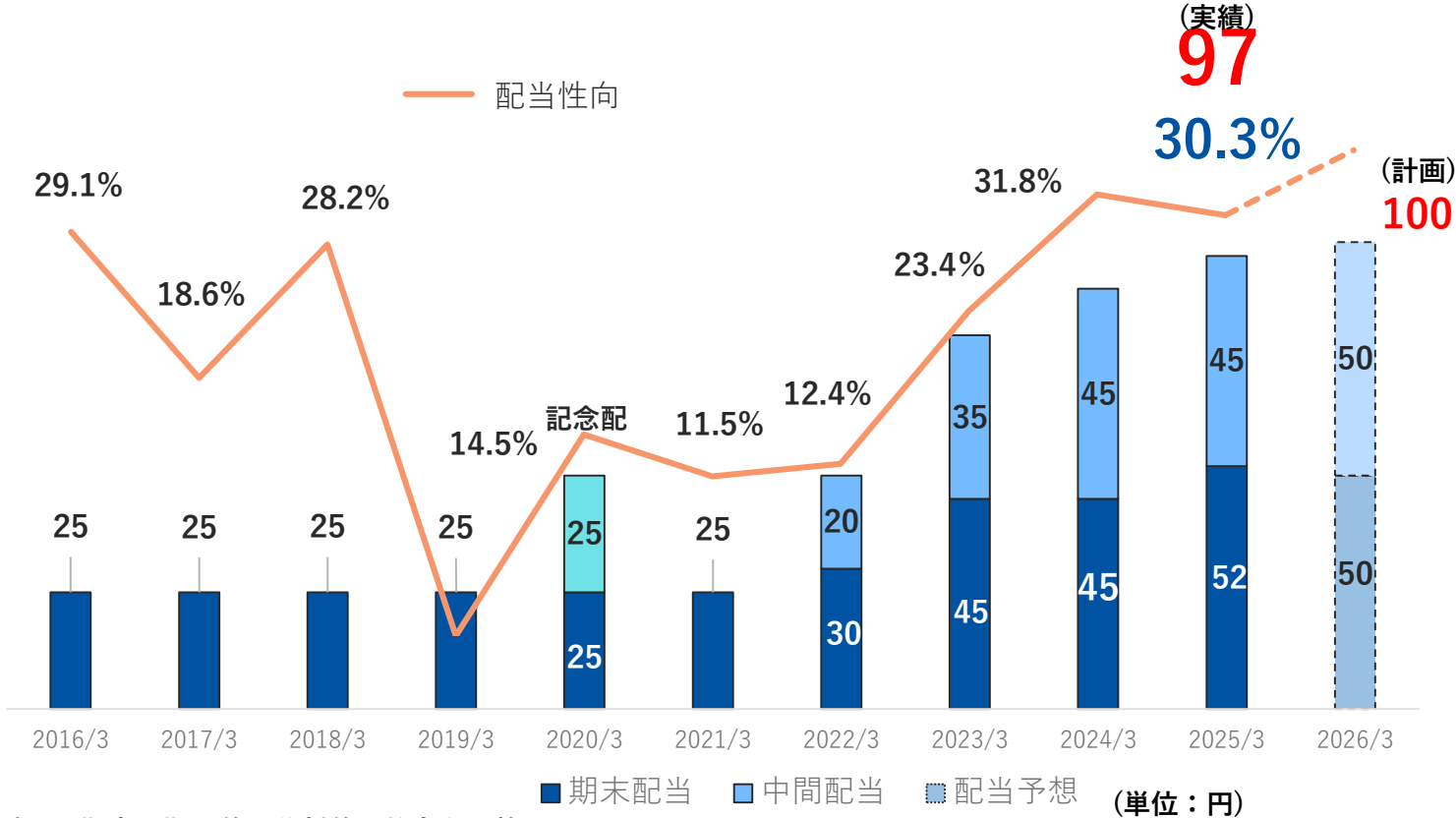
 ニチモウ株式会社

株主還元策

配当金：2025年3月期配当金は、実質7円増配の年間97円

2026年3月期(計画)：1株当たり年間配当100円(中間50円＋期末50円)

- ・ 2025年3月期：期末配当は52円（前期比＋7円）⇒年間では97円
※配当性向30%以上
- ・ 2026年3月期：年間100円を計画
※新中期経営計画目標値：配当性向35%以上、実質累進配当政策は継続



* 2017年3月期以前は併合前の数字を、2024年3月期中間期以前は分割前の数字を調整

2025年5月27日以降に「2025年3月期決算・第140期中期経営計画説明会」のアーカイブ動画配信を予定しておりますのでぜひご視聴ください。

<https://www.nichimo.co.jp/ir/library/>

本資料に記載されております業績見通し等の将来に関する記載は、現時点において入手可能な情報に基づき作成したものであり、今後様々な要因によって異なる結果となる可能性があります。
また、本資料の著作権を含む一切の権利はニチモウ株式会社に帰属します。

IRに関するお問い合わせ
ニチモウ株式会社 総務部IR担当
E-mail：ir@nichimo.co.jp
TEL：03-3458-3020

2025年5月9日